

平成 30 年度 職能拡大推進事業

糖尿病療養指導における臨床検査技師の活躍のために

生涯教育研修制度 : 専門教科 20 点

テーマ	糖尿病療養指導における臨床検査技師の活躍のために
目的	日本糖尿病療養指導士(CDEJ)とは、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理(療養)を患者に指導する医療スタッフである。この資格は、一定の経験を有し試験に合格した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられ、CDEJに認定されることは糖尿病の臨床における生活指導のエキスパートであることを意味する。この活動の中で臨床検査技師がどのような役割を担い、求められているかを中心に、これからこの資格を目指している技師への基礎教育として開催する。
会期	平成 31 年 3 月 3 日(日) 9 時 30 分 ~ 16 時 15 分
会場	一般社団法人日本臨床検査技師会館 3 階第一会議室 〒143-0016 東京都大田区大森北 4 丁目 10 番 7 号
内容	<p>3 月 3 日(日)</p> <p>受付 9 時 00 分 開会 9 時 30 分 9 時 30 分~9 時 40 分 挨拶 9 時 40 分~10 時 40 分</p> <p>招聘講演 臨床検査技師に日本糖尿病療養指導士として望むこと 講師 寺内 康夫 (日本糖尿病療養指導士認定機構理事長) 休憩 (10 分)</p> <p>10 時 50 分~11 時 50 分 講演① 臨床検査技師だからこそできる療養支援の魅力 講師 中川 裕美 (倉敷リバーサイド病院) 休憩 (昼食: 11 時 50 分~12 時 50 分)</p> <p>12 時 50 分~13 時 40 分 講演② 糖尿病教室での臨床検査技師の役割と成果 講師 夏目 久美子 (岡崎市民病院)</p> <p>13 時 40 分~15 時 50 分 「アクティブ・ラーニング」 糖尿病療養指導での多種職種連携チームと臨床検査技師の役割を考える 「ファシリテーター」 小関 紀之 (獨協医科大学越谷病院) 近藤 裕子 (東京都済生会中央病院) 武田 裕子 (東京都済生会中央病院) 中川 裕美 (倉敷リバーサイド病院) 夏目 久美子 (岡崎市民病院) 油野 友二 (北陸大学医療保健学部)</p> <p>16 時 00 分~16 時 15 分 終了式</p>
募集人員	60 名 (定員になり次第締め切りさせていただきます)
参加資格	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員
受講料	3,000 円
申込締切	平成 31 年 2 月 18 日(月) ※定員になり次第、申し込みは締め切ります。
申込要領	* WEB からの事前受付 会員専用ページ ⇒ 生涯教育 ⇒ 行事検索 ⇒ 日臨技又は支部講習会を選択 ⇒ 事前登録
申込先	〒143-0016 東京都大田区大森北 4 丁目 10 番 7 号 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 事務局 電話 03-3768-4722
宿泊	各自で手配してください。
主催	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会